

令和元年
第2回
評議員会会議録

5月30日(木)

国立市土地開発公社

令和元年 第2回 国立市土地開発公社評議員会会議録

1. 開催日 令和元年5月30日(木)

2. 場所 国立市議会 委員会室

3. 出席者

(1) 評議員 10名 (————は欠席を表す)

会長 青木 健	副会長 重松 朋宏	高柳 貴美代
関口 博	古濱 薫	住友 珠美
柏木 洋志	小口 俊明	青木 淳子
藤江 竜三		

(2) 理事 8名

理事長 竹内 光博	副理事長 是松 昭一
出納理事 藤崎 秀明	常務理事 門倉 俊明
理事 雨宮 和人	理事 大川 潤一
理事 橋本 祐幸	理事 江村 英利

(3) 事務局 3名

事務局長 立川 浩平	庶務係長 河村 善之
庶務係員 鍬田 彩葉	

4. 議題

協議事項4 平成30年度国立市土地開発公社決算

5. 会議時間 開会 午前10時00分

閉会 午前10時25分

臨時議長

(関 口 博 君)

本日は国立市土地開発公社評議員会の開催に当たりまして、評議員の皆様におかれましては、6月の市議会定例会を控え、なにかとご多忙のところをご出席いただき、ありがとうございます。

本日の評議員会は、先日の市議会臨時会での、協議会等委員の選出が行われたのちの、初めての評議員会でございます。

従いまして、会長が選任されるまでの間は、年長の私が進行役を務めさせていただきます。

よろしくご了承のほどお願い申し上げます。

ただいまの出席評議員は10名でございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから令和元年第2回国立市土地開発公社評議員会を開会いたします。

日程第1「会長の選任について」を議題といたします。会長の選任につきましては、国立市土地開発公社定款第二十三条第一項の規定によりまして、評議員の互選により選任することとなっております。立候補又は推薦される方がおりましたら、うけたまわります。

(「青木健評議員を推薦します。」との声あり。)

ただいま、青木健評議員を会長に推薦する旨の発言がありましたが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり。)

ご異議なしとのことでございますので、青木健評議員を会長に選任することに決しました。

ここで、暫時休憩といたします。

議長

(青 木 健 君)

休憩を閉じて、議事を再開いたします。

ただいま、会長にご選任をいただき、誠にありがとうございます。

今後のまちづくりを進める上で、土地開発公社が果たす役割は、大変重要であることを認識しております。

皆様のご協力をいただきながら、評議員会を運営していきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、日程第2「副会長の選任について」を議題といたします。

副会長につきましても、定款第二十三条第一項の規定によりまして、評議員の互選により、選任することとなっております。立候補または推薦される方がおりましたら、うけたまわります。

（「重松評議員を推薦します。」との声あり。）

ただいま、重松評議員を副会長に推薦する旨の発言がありましたが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」との声あり。）

ご異議なしとのことですので、重松評議員を副会長に選任することに決しました。

次に、日程第3「会議録署名評議員の指名について」を議題といたします。

会長において、「高柳評議員」と「柏木評議員」の両名を指名することにご異議ありませんか。

（「異議なし」との声あり。）

ご異議なしと認め、高柳評議員と柏木評議員の両名を指名いたします。

日程第4「会期の決定について」を議題といたします。

会期を本日一日とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」との声あり。）

ご異議なしと認め、会期を本日一日といたします。

日程第5「理事長あいさつ」でございます。理事長、よろしくお願い申し上げます。

理 事 長

(竹 内 光 博 君)

おはようございます。

本日は、国立市土地開発公社評議員会を招集しましたところ、皆様におかれましては、市議会定例会前のお忙しい中にもかかわらず、お集まりいただきましてありがとうございます。

本日ご協議いただきますのは、国立市土地開発公社の平成30年度決算について、でございます。

まず、本市を取り巻く状況でございますが、本年の地価公示価格は全国平均で、住宅地で0.6%の上昇、商業地で2.8%の上昇で、4年連続の上昇となりました。

また、東京都の平均では、住宅地が3.0%上昇、商業地では6.8%上昇、国立市の平均では、住宅地が2.3%の上昇、商業地では2.8%の上昇となりました。

このような状況の中で、当公社の平成30年度事業につきましては、市道八王子道用地を取得し、また、都市計画道路3・4・10号線用地は国立市への売却が完了しました。

これも評議員の皆様のご協力の賜物であると深く感謝申しあげる次第でございます。

なお、本決算につきましては、去る5月24日に庄司監事及び内藤監事に監査をしていただいたところでございます。

詳しい内容につきましては、事務局から説明いたしますので、よろしくご協議のほどをお願い申し上げます。

終わりに、皆様には更なる当公社へのご支援、ご協力をお願い申し上げます、私の挨拶といたします。

ありがとうございました。

議 長

(青 木 健 君)

ありがとうございました。

続いて、日程第6 協議事項4「平成30年度国立市土地開発公社決算」を議題といたします。

当局から、説明を求めます。事務局長。

事務局長 (立川浩平君)

(協議事項4の説明(省略))

議長 (青木健君)

説明が終わりました。

引き続きまして、監査結果について、庄司監事より、ご報告を願います。

監事 (庄司雅君)

監事の庄司でございます。監事を代表しましてご報告いたします。内藤哲也監事と私、庄司雅両名は、令和元年5月24日午前10時から、市役所第4会議室において、国立市土地開発公社会計規程第35条第2項の規定に基づき、平成30年度の会計決算について、事業報告及び会計帳簿、証拠書類並びに財務諸表の監査を実施し、正確・適正に執行されておりましたことをご報告申し上げます。

議長 (青木健君)

報告が終わりました。

それでは、ご質疑、ご意見をうけたまわります。

評議員 (重松朋宏君)

市道八王子道の取得について経過をうかがいたいと思います。特に、先行取得することの意義としてはどういう意味があるのでしょうか。

事務局長 (立川浩平君)

市道八王子道につきましては、国立市において10年間で優先的に整備する路線のひとつと聞いております。

また、土地開発公社による先行取得という手法を選択した理由ですが、取得にかかる用地費のおよそ50%が東京都の市町村土木補助を受ける要件を満たすために、土地開発公社がいったん先行取得をし、所定の手続きを行った上で補助を受ける、そのために市が先行取得を依頼しているということです。

評 議 員

(重 松 朋 宏 君)

市が直接買い取って事業を行うよりも、先行取得して市が一括で買い取る方が補助を多く受けられるということですね。

2点目として、都市計画道路3・4・10号線についてですが、こちらは取得したところを平成30年度に売却したということですが、いつ取得したのか、また売却の際の用地費は取得時の単価で売却されるのでしょうか。

事 務 局 長

(立 川 浩 平 君)

都市計画道路3・4・10号線用地の、1件目は平成27年度の取得、2件目は平成29年度の取得でございます。

用地費の単価は、先行取得した際の価格でございます。

評 議 員

(重 松 朋 宏 君)

こちらも先行取得して、一括して市が購入した方が補助をより多く受けられるということですね。それに加えて、この間、報告の中にもあったように土地の価格が上がってきているので、その分の効果はあるとみてよろしいのでしょうか。

事 務 局 長

(立 川 浩 平 君)

地価の変動に関するメリットというと、過去数年地価が上昇していますが、逆の事も考えられるので、地価が下落すればその損失、差額は出てくると考えております。

評 議 員

(重 松 朋 宏 君)

この件については、ここ数年地価が上がっているのので、結果的に先行取得したことの具体的な効果があったとみておりますが、その確認と、先行取得することにより補助を多く受けられるという意味があったと見てよろしいでしょうか。

事 務 局 長

(立 川 浩 平 君)

はい、その通りと考えております。

議 長 (青 木 健 君)

ほかに、ございませんか。なければ、本議題については、これで協議を終了することといたします。

これもちまして、全日程が終了いたしました。
以上で、令和元年第2回国立市土地開発公社評議員会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

午前10時25分閉会